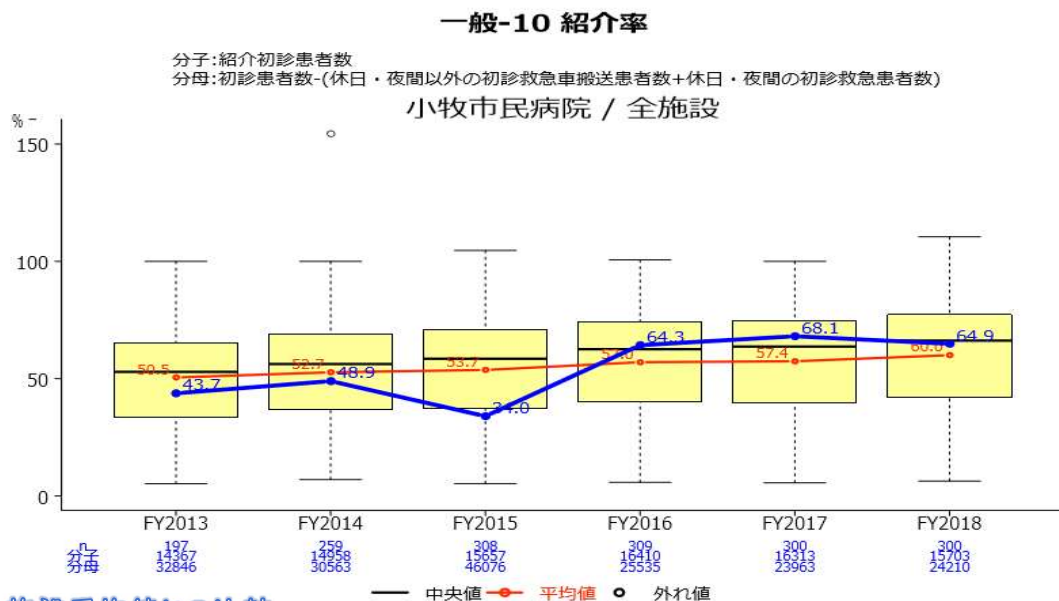


## 10 紹介率

紹介率とは、初診患者に対し、他の医療機関から紹介されて来院した患者の割合です。地域医療支援病院として、地域の医療機関（かかりつけ医）からの紹介患者を速やかに受け入れる体制を確保することは重要なことです。

紹介率は、「紹介患者に対する診療提供体制」や「地域の医療機関との連携状況」を示す指標となります。

本指標では、より高い値が望ましいとされています。



### 全施設平均値との比較

全国平均値は上回っているものの、中央値を下回る結果となりました。

地域の医療機関との役割分担を進める中、健診で要精査となった患者を他の医療機関に依頼することを推進したことが要因と考えられます。

### 2017年度当院データとの比較

2017年度と比較して、紹介率は低下しています。

紹介率の変動に大きく影響を与えている診療科が一般内科であることから、地域の医療機関との役割分担が順調に進んだことが推測されます。

### 数値改善に向けた今後の取り組み

紹介患者さんの受け入れ態勢を充実させるため、地域の医療機関とのさらなる役割分担を推進し、紹介患者の増加を図ります。

### 2017年度評価時の改善策の実施状況と評価

各診療科の紹介患者受け入れ状況を分析し、必要に応じて紹介患者さんの予約枠を増設することで、紹介患者さんを円滑に受け入れる体制を整えることが出来ました。

実紹介患者数は前年度比 96.8%であり、2017年度水準を維持することができました。

## 11 逆紹介率

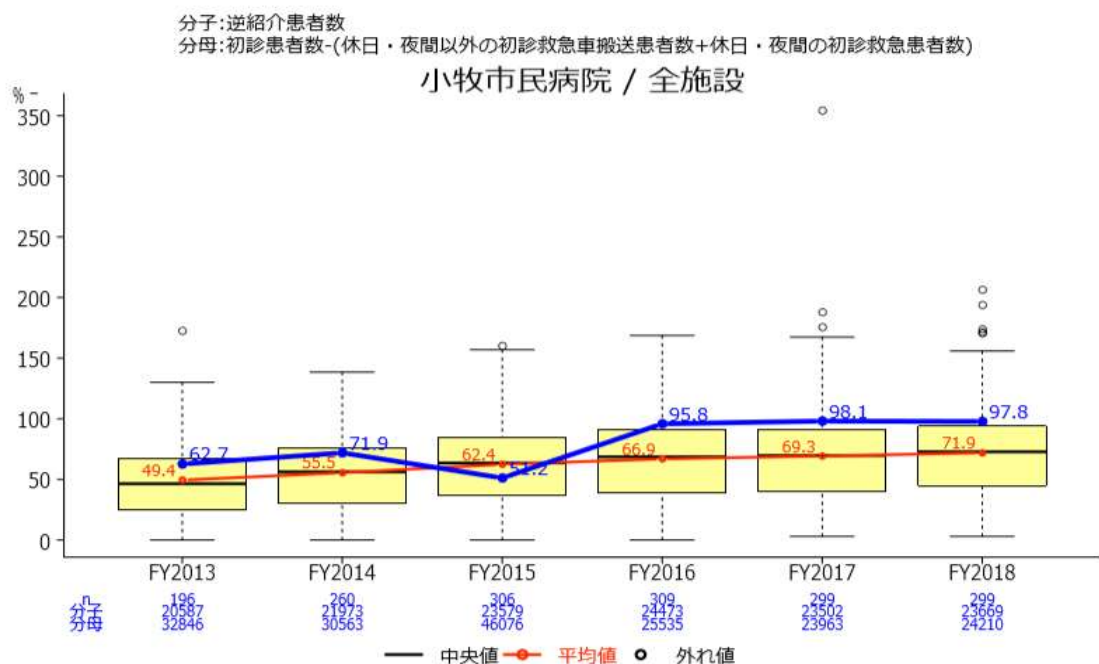
逆紹介率とは、初診患者に対し、他の医療機関へ紹介した患者さんの割合です。

地域の医療機関（かかりつけ医）からの紹介患者さんを速やかに受け入れるためには、紹介予約枠の適正確保が重要です。そのためには、症状の落ち着いた患者をかかりつけ医に逆紹介し、日頃の診療をお願いする必要があります。

逆紹介率は、「地域の医療機関との連携状況」を示す指標となります。

本指標では、より高い値が望ましいとされています。

### 一般-11 逆紹介率



#### 全施設平均値との比較

全国平均値および中央値を大きく上回っています。

地域医療連携の取り組みの効果ができていると考えられます。

#### 2017年度当院データとの比較

2017年度と比較して微減しているものの、逆紹介患者数は微増しています。

前年度に引き続き、症状の落ち着いた患者さんを積極的に地域の医療機関へ逆紹介したことが要因と考えられます。

#### 数値改善に向けた今後の取り組み

本年度に引き続き、症状の落ち着いた患者さんを積極的に地域の医療機関へ逆紹介し、現水準を維持します。

#### 2017年度評価時の改善策の実施状況と評価

広報等を用いて、地域医療連携の取り組みを地域の医療機関に周知することができました。